【発音規則のおさらい２】子音の「クッション」リエゾン



「発音規則のおさらい」シリーズ、前回のアンシェヌマンに続いて、今回は*リエゾン*です。

読まれない音を読む

vous avez , ils habitent , les enfants , elle est allée
などのよ
うに、前の単語の
最後の子音と、後ろの単語の最初の母音がくっつくことを「*リエゾン*」と呼びますね。

「音がつながる」という点ではアンシェヌマンとも似ています。ただ、アンシェヌマンは「もと
もと
読まれて

いた音」をつなげ
ます。これに対しリエゾンは、前後
の単語がつながることで「**もともとは読まれない音**」**が読まれる**点が大きく違います。

フランス語では **liaison**
と書きますが、これは「つながり」のほかに「関係」という意味もあります。

ただ鎖でつ
なげるだけだったアン
シェヌマンに対し、リエゾンは二つの単語の
間に、**なかったはずの関係性を作り出している**とも言えますね。

リエゾンする理由は？

こんなことをするのには、もちろん理由があります。

それはずばり「**母音衝突を避けるため**」です。

母音衝突とは、母音を二つ続けて発音することをいいます。例えば、リエゾンが起こらなければ **vous avez** は [vuave]と読みます。

ですが発音しづらく、フランス語ではとくにこれを嫌う傾向があります。だから母音と母音がケンカしないよう「**子音のクッション**」**をはさむ**
ことで、両側の単語の友好関係を築いているんですね。

フランス語の感覚では、[vuzave] の方がよっぽど「座りがいい」 のです。

すべては発音しやすくするため

難しそうに思える発音規則もすべては**発音しやすくするため**
。そう考えれば、少しは抵抗が減るのではないかなぁと思います。

次回はエリズィオンについて。お楽しみに！

執筆 アンサンブル講師Hibiki



オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師による
マンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた
質の高いレッスンが好評です。

